



# 音でバイオの世界をかえる分科会

オンキヨー株式会社 代表者 大拙 宗徳

リーダー 近藤 裕介

リーダー 河村 文昭

社会課題 バイオ生産システム／ヘルスケア

取り組み内容 バイオ生産、ヘルスケア領域への音の利用

## 未来の社会課題

バイオ関連

食品業界

環境分野

エネルギー分野

道路・橋梁・鉄道

車載・建機

コンシューマー補助

動物・植物

コールセンター・通信

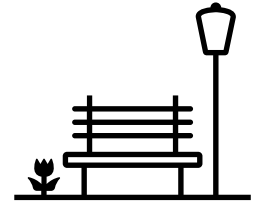
ヘルスケア・医療

### 社会課題のピックアップ

自治体との連携により  
地域住民との連携強化

**ONKYO**

音で世界を変える



### 産学連携による技術の深化・発掘

社会課題を解決するため  
各大学と連携／研究の推進  
シーズ型研究

### 企業連携による社会実装

大学との基礎研究、企業の技術を活かし  
社会課題を解決するための  
市場化、スタートアップ

# ターゲット

## バイオ分野

日本酒

海産物

ビール

醤油

しいたけ

チーズ

腸状態の保全

動物の体調

遠隔診療

心音/肺音の可視化

音響解析技術

心音・腸音可視化

健康管理支援アプリ

音楽食品

PC/スマホアプリ

ONKYO

音で世界を変える

音声認識

コンシューマー向け商品

高音質音楽アプリ

楽器

構造解析  
(打検・非破壊検査)

IT機器PC  
AR/VR

エンジン  
モーター

車載

高速道路

照明柱

回転機器  
ファンなど

鉄道

ブルドーザー

交通量調査

地すべり

軸重

異音検知

振動解析

騒音可視化

工事現場

工場

議事録  
書き起こし

コールセンター  
効率化

# ターゲット (バイオ分野)

## 1. オーディオ技術×食品

音楽による発酵食品の価値作り

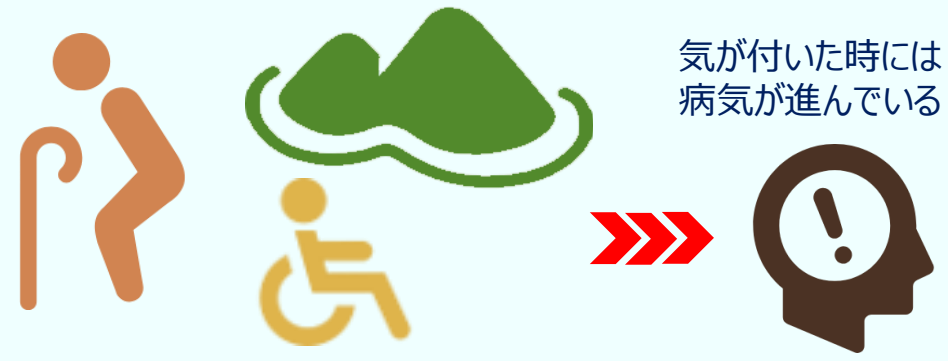
音で世界を変える

食の楽しさ×音楽のエンタメ性  
世界に広がり、未来へ続く  
日本の食文化、健康文化



## 2. AIホスピタル・リモート診療

高齢者、障害のある方、離島など、通院への負担  
通院頻度が下がると疾病発見機会の喪失が起こる



## 3. AI創薬

培った音声AI技術により創薬分野で活用  
投資削減効果に寄与

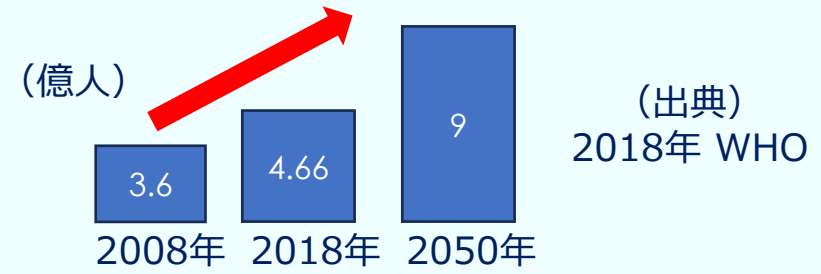
創薬開発期間: 9 ~ 16年



AI・クラウドでの解析による大幅な時間短縮

## 4. 難聴改善・支援

世界的に聴覚障害に苦しむ人が増加



原因：高齢者人口の増加  
スマートフォン等の普及による大音量での音楽聴取



# 2025年までの計画



ターゲット		2023年	2024年	2025年	
1 オーディオ 技術×食品	技術	酵母×メカニズムの研究			
	市場	発酵食品実施10社	発酵食品実施20社	発酵食品実施30社	発酵食品実施40社
2 AIホスピタル リモート診療	技術	プロトタイプ開発(a)	技術開発支援 (プロトタイプ)	技術開発支援 (市場リリース)	
	市場	パートナー募集	パートナー締結		
3 AI創薬	技術	要素技術開発中	ターゲット策定	技術支援 (プロトタイプ)	技術支援 (ツール化)
	市場	パートナー募集	パートナー締結		
4 難聴治療 改善支援	技術	聞こえやすい音要素技術	難聴予防についての基礎研究		
	市場	補聴器販売		補聴器以外の技術転用	
		難聴予防関連パートナー募集		パートナー締結	

大阪万博までに成果を公開